

胃内視鏡検査 (胃カメラ検査)



■ 検査の内容

- ・食道、胃、十二指腸にがんやポリープ、潰瘍、炎症などがいないか調べます。

■ 検査の特徴

- ・口から入れるタイプ（経口内視鏡）と鼻から入れるタイプ（経鼻内視鏡）があります。
- ・食道・胃・十二指腸の一部を観察します。

経口内視鏡検査	経鼻内視鏡検査
・被ばくの影響がなく、早期がんの発見に役立つ。	
・経鼻よりカメラが太いため、視野が広く、よく観察できる。 ・検査時間が経鼻より早い。	・喉の違和感が経口より少ない。 ・嘔吐反射が少ない。 (オエっとなりにくい)

このような方にお勧めします

- ◆胃潰瘍、十二指腸潰瘍の既往のある方
- ◆ピロリ菌に感染していると指摘のあった方。または、ピロリ菌の除菌を行った方

■ 検査の注意

- ・胃や食道の出血や穴をあけてしまうリスクがある。
- ・喉の違和感が残る場合がある。
- ・嘔吐反射が出る。（オエっとなる）
- ・鼻の麻酔が必要。 ※1
- ・検査後にめまい、吐き気、嘔吐が続くことがある。 ※1
- ・検査後に鼻出血が起きることがある。 ※1
- ・検査時間が経口よりかかる。 ※1 ※1 経鼻内視鏡の場合



【 料金 】 13,000円 (税別)

健診に胃部X線検査が含まれている方が
胃内視鏡検査に変更される場合は、4,000円になります